

主権者教育を 考える

兵庫県弁護士会
イメージキャラクター
ヒマリオン
Since2001

～政治的中立性をめぐって～

主権者教育という言葉をご存じでしょうか。18歳選挙権の導入を機に注目を浴び初め、最近ではメディアにもよく登場するようになりました。文部科学省も推進しています。学校教育の中でしっかりと主権者になるための知識や能力を身につけさせようというものです。

他方で、政治家が学校現場に対して「政治的中立性」に違反するとして、授業内容に介入するようなケースも出てきています。生徒に政治を教えることと、学校の「政治的中立性」とはどのような関係にあるのでしょうか。

この国で本物の主権者を育てていくためにはどのような教育が必要なのでしょう。

皆さん、一緒に考えてみませんか。



2016年(平成28年)

11.26^土

14:00～16:30 (開場13:30)

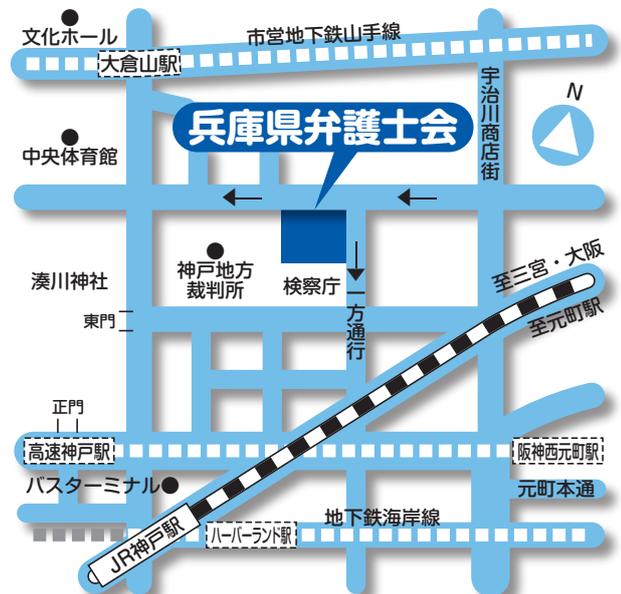
申込不要

入場無料

先着180名

兵庫県弁護士会館 4階講堂

神戸市中央区橘通1-4-3



※会場へは公共交通機関をご利用ください。

プログラム

- 第1部 基調講演**
新藤 宗幸氏((公財)後藤・安田記念東京都市研究所理事長)
- 第2部 パネルディスカッション**
寺田ともか氏(元SEALDsKANSAI)
稲次 寛氏(兵庫県立北条高校社会科教諭)他

講師プロフィール



新藤 宗幸氏

公益財団法人
後藤・安田記念東京都市研究所
理事長

中央大学大学院法学研究科修士課程修了。立教大学法学部教授、千葉大学法経学部教授等を歴任。

現在、(公財)後藤・安田記念東京都市研究所理事長。専門は行政学・政治学。市民を主役とした行政のあり方を提唱し、論壇に限らず市民運動の場でも活躍。著書に、「主権者教育」を問う』等多数。